

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成16年4月に開設をし、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第2期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第3期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第4期> 自 24. 4. 1 至 29. 3. 31	59,832,000	〃
<第5期> 自 29. 4. 1 至 2. 3. 31	41,177,000	〃

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、SNS、情報誌（「パルティ」年4回発行）等広報ツールを活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・市民活動を深く広めるため、市民及び団体との交流事業を図るよう促した。

年 月 日	内 容
30. 7. 8	第5回「ダンスワールドin伊勢」（注）
30. 7. 8	第23回ミュージックコミュニケーション（注）
30. 8. 5	登録団体交流会
30.12. 1	伊勢アート&クラフトフェア
30.12.15	第24回ミュージックコミュニケーション（注）
31. 2. 23	第1回チラシコンテスト（登録団体&まちづくり協議会）
31. 3. 23	第9回いせ市民活動フェスティバル

（注）「いせ市民活動センター災害復旧支援プロジェクト」（通称、つながりプロジェクト）のためのチャリティーイベントとしても開催

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機を設置

また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1 Fホール			
25. 4. 1 ～ 26. 3. 31	%	%	%	%	人	%	人
	41.7	45.1	52.0	29.2	47,116	22.6	15,351
26. 4. 1 ～ 27. 3. 31	38.5	47.1	57.1	32.7	48,841	25.1	16,785
27. 4. 1 ～ 28. 3. 31	31.9	42.8	49.5	27.8	43,031	26.2	15,130
28. 4. 1 ～ 29. 3. 31	37.1	48.6	54.3	32.6	43,911	28.7	15,623
29. 4. 1 ～ 30. 3. 31	34.6	45.9	49.7	39.7	46,014	26.1	18,762
30. 4. 1 ～ 31. 3. 31	32.5	42.3	48.9	35.7	35,737	20.7	14,170

平均稼働率・・・稼働実績時間数 / (稼働可能時間(11時間) × 稼働可能日数) × 100

(登録団体数)

基準日	26. 3. 31	27. 3. 31	28. 3. 31	29. 3. 31	30. 3. 31	31. 3. 31
登録団体数	174	185	180	182	184	181

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し、市民自治の担い手として活動を継続的に続けるために、その経費の一部を補助している。選考は平成30年3月25日に公開プレゼンテーションを実施し、審査員（民間及び外部有識者6名を委嘱）が審査し決定した。

補助金の補助率は対象経費の10分の8以内、10万円を限度として交付した。

(対象事業)

保健、医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等

平成 30 年度交付決定団体（申請 11 団体うち交付決定 4 団体）

団 体 名	事 業 名	交 付 額
子ども未来クラブ伊勢	みつばちと地球とわたしたち	円 100,000
やまだみらいL a b（ラボ）	伊勢やまだ研究・活性化事業	43,000
リブリトルズ	親子のためのデイキャンプ型・防災ワークショップ開催事業	87,000
YYプロジェクト	大人のパズル広場～シニアのための脳トレ～開催事業	31,000
計		261,000

3 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、71 団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

10 月 6 日（土）は台風通過の影響で天候が荒れ、多くの団体が参加をキャンセルした。

なお、10 月 6 日～16 日までを「おおまつりウィーク」とし、期間中には「伊勢まつり」のほか「神嘗奉祝祭」と「初穂曳」もそれぞれ開催された。

(1) 日 時 平成 30 年 10 月 6 日（土） 9：40～21：00

平成 30 年 10 月 7 日（日） 10：00～17：40

(2) 場 所 高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線～伊勢市駅周辺

(3) 内 容 ・幼稚園児のマーチング、小学生の鼓笛等のパレード、お木曳車の運行
 ・ねぶた飾り車の運行、楽器演奏、ダンス、マジック等のパフォーマンス
 ・来場者も参加できる「みんなで踊ろう！！伊勢音頭」
 ・市内団体・事業者を中心とした展示・販売ブース

(4) 来場者数 6 日（土）約 3 万人 7 日（日）約 9 万人 計約 12 万人

(5) 平成 30 年度の特徴

- ・フィナーレ「みんなで踊ろう！！伊勢音頭」会場を拡張（一之木交差点に加え、尼辻交差点でも同時開催）
- ・伊勢市生活支援サポーター養成事業とコラボし、修了生によるバリアフリーチェックを実施
- ・伊勢市の観光 PR キャラクター「はなてらすちゃん」のスタンプラリーを実施
- ・自転車置き場を新設（一之木中央公園）
- ・Facebook ページにてパレードの進行状況および天候等による変更をリアルタイムで発信

(6) 参 加 者 （括弧内は参加予定者数）

パレード のべ 23（32）団体 2,200（3,800）人

イベント のべ 31（41）団体 1,300（1,500）人

出展・出店 のべ 140 (148) 団体 410 (430) 人

4 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成 23 年 4 月 1 日から名称変更をし、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

- (1) 指定管理者 矢持町下村区
- (2) 指定管理料 270,000 円 (年額)
- (3) 指定管理期間 平成28年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
- (4) 利用者数 2,454 人 (平成 30 年度)

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が会議室及び図書室を利用している。

コミュニティセンター使用状況

- (1) 神社地区コミュニティセンター (みなとデイサービスセンターに併設)

図書室利用状況	
利用者数	貸出人数
人	人
2,414	353

- (2) 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
19	26	45	853	1,652	814

- (3) 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
178	0	178	2,511	589	301

- (4) 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
190	116	306	3,396	106	56

(5) 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
33	17	50	631	127	24

(6) 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
112	35	147	1,838	309	55

(7) 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
253	73	326	5,544	593	156

(8) 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室	生活研修室	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
85	32	117	1,965	187	64

○ 国際交流事業関係

1 多文化共生事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した技能実習生対象の説明会を開催（7回）

イ 「外国人をサポートするための避難所運営訓練」等の開催

三重県国際交流財団に委託し、災害発生時の外国人住民への情報提供、避難所運営に関する実践的な訓練や外国人住民を対象とした防災説明会を行った。

(ア) 外国人住民対象の防災説明会

- ・日 時 平成31年1月19日（土）13：30～16：00
- ・場 所 伊勢市防災センター2F防災研修室及び3F防災体験学習室
- ・対 象 外国人（市内在住、在勤、在学）
- ・参加人数 67人（中国49人、ベトナム9人、ミャンマー6人、アメリカ1人、日本2人）

(イ) 外国人受け入れのための避難所運営に関する研修会

- ・日 時 平成31年2月2日（土）13：00～16：00

- ・場 所 伊勢市防災センター4F防災多目的ホール
- ・対 象 避難所担当職員、まちづくり協議会関係者（中島、豊浜、二見）他
- ・参加人数 25人（※うち、まちづくり協議会関係者13人）

ウ 外国人全世帯への情報提供

日本語教室案内（中国語、ポルトガル語、英語、スペイン語）、その他生活に関わる情報等を市内在住外国人全世帯691世帯へ配布した。

エ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び13市町のメンバーにより開催され、計10回参加した。

2 国際交流推進事業

(1) 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際交流・多文化共生に関する事業を推進している。

平成31年3月末会員数 個人会員70人、団体会員6団体、企業会員2企業

主な事業 ・外国人住民のための日本語教室（いせ日本語教室）

場 所 いせ市民活動センター南館2階

日 時	毎週火曜日	10:00~11:30	42回開催
	毎週木曜日	19:00~20:30	42回開催

学習支援ボランティア 延べ898人

学習者（外国人） 延べ622人

・交流会の開催

外国料理教室（年2回）や外国人との交流イベント等を開催した。

・国際関係団体との連携

災害時外国人対応事業や国際交流イベント事業へ委員として参加した。

(2) 伊勢市国際交流フェスティバル

市民の国際感覚の醸成を目的として、市内外の国際交流・多文化共生関係団体で構成する伊勢市国際交流フェスティバル実行委員会を結成し、「伊勢市国際交流フェスティバル」を実施した。

・開催日 平成31年3月3日（日）

・会場 伊勢市ハートプラザみその

・来場者数 約650人

・実施内容 国際交流や多文化共生に関するブース展示

国際交流や多文化共生に関するワークショップ開催
スタンプラリーによる外国料理の提供
「地球のステージ」公演の開催

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア支援事業

市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンター(以下、「センター」という)に関して、有事の際に円滑な運営ができるよう、関係団体との連携や新たな人材を育成するための取り組みや、センターの運営者研修等を行った(市社会福祉協議会への負担金により実施)。また、岐阜県関市へ出向き、7月豪雨災害支援活動を実施した。

(1) 関係団体との連絡会

- ・開催日 平成30年7月19日(木)
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室
- ・参加人数 27人

(2) 7月豪雨災害支援活動(岐阜県関市)

豪雨被害を受けた岐阜県関市において復旧支援のためのボランティア活動を実施した。活動内容については、現地災害ボランティアセンターの指示に基づき、水田への流入物撤去作業を行った。

- ・実施日時 平成30年7月18日(水) 5:50~17:45(移動時間含む)
- ・実施場所 岐阜県関市上之保地区
- ・参加者 伊勢市災害ボランティアセンター及び同センター連絡会団体
合計10名

(3) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時体制の中で、センターの運営を支える人材を育てるため、講義と実践を交えた講座を実施した。

- ・開催日 平成30年12月16日(日)
- ・会場 皇學館大学 7号館 711教室
- ・修了者人数 32人

(4) 災害ボランティアコーディネータースキルアップ研修

養成講座の修了者及び他市町ボランティアセンター関係者・関係団体を対象に、伊勢志摩圏域ボランティアセンターの合同研修会を兼ねた研修を実施した。NPO団体等との連携や水害時の床下対応について学び、さらなる知識や技術の向上を図った。

- ・開催日 平成30年11月11日(日)
- ・会場 伊勢市防災センター 4階 防災多目的ホール・車庫
- ・参加人数 79人

(5) 災害ボランティアセンター運営者研修会

養成講座の修了者および市内関連団体を対象に実施した。平成30年度は、前年度の災害対応時の経験を踏まえた役割分担・会場レイアウトで、より実践的な訓練を行った。

- ・開催日 平成31年1月27日（日）13:00～17:00
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール他
- ・参加人数 50人

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」紙面を活用し、公募市民3人の企画編集による啓発記事「めざそや！共同参画」を年4回掲載した。

発行日	内 容
5月15日号	・アンコンシャス・バイヤスって何だろう？
8月15日号	・自分の「無意識の偏見・思い込み」に気付こう！
11月15日号	・アンコンシャス・バイヤスが及ぼす影響
2月15日号	・個人を理解・尊重し合える社会を目指して

2 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第3次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取り組みを行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画を推進するために、三重県内の男女共同参画センター5館と20市町が連携し、映画祭を開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日	開催場所	内 容	参加人数
30. 6.24	伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール	映画「彼らが本気で編むときは、」上映会	人 233

(2) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する日として条例で定めた「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

ア 料理教室の開催

開催日	開催場所	内容	参加人数
30. 7. 29	伊勢市生涯学習センター 調理室	パートナーと料理を作ろう 講師：フレンチレストラン 「ルサンク」シェフ夫妻	人 30 (15組)

イ 啓発品配布等

実施日	実施場所	配布数	内容
30. 8. 4	城田小学校 城田地区まちづくり 協議会主催納涼祭	枚・個 170	啓発用ウェットティッシュの配布、子ども アンケート実施
30. 8. 16 ～ 8. 17	市役所市民ホール	130	啓発用ウェットティッシュの配布、パネル 展示、館内放送、アンケート実施

(3) れいんぼうカフェの開催

だれもが生きやすい社会づくりのため、気軽に立ち寄り、悩みを話したり共有したりできる居場所づくりに取り組んだ。

開催日	開催場所	内容	参加人数
30. 6. 10	御菌公民館講堂	市長と話そう！れいんぼうカフェ	人 17

(4) れいんぼうカフェ「防災編」の開催

男女共同参画の視点で防災・減災について考える機会を提供した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
30. 10. 28	伊勢市防災センター	・「誰もが安心できる避難所のため に」講師：フレンテみえスタッフ ・ワークショップ・非常時持ち出し 品等の展示	人 28

(5) 男性の育児参加促進

父親の子育てへの参加促進と親子がふれあう機会を提供した。

開催日	開催場所	内容	参加者
30. 7. 8	伊勢市生涯学習センタ ー和室	「パパのための育児力アップ講座&マ マのためのヒーリングタイム」ベビーマ ッサージ（対象：赤ちゃんと父親）	組 9
	伊勢市生涯学習センタ ー学習室	「パパのための育児力アップ講座&マ マのためのヒーリングタイム」ヨガとハ ンドマッサージ、交流会（対象：母親）	人 9

30. 12. 15	伊勢市生涯学習センター多目的ホール他	親子映画祭・女性を応援する一坪ショップ	人 大人 123 子ども 163
31. 2. 10	ミタス伊勢催事場	れいんぼうファミリーフェスタ おはなし会、森の木工細工教室・バルーンアート・カプラ・スタンプラリーなど	人 大人 95 子ども 77

(6) まつりにおける啓発

市民に広く男女共同参画を啓発するため、伊勢まつりに出展し啓発を行った。

開催日	開催場所	内 容
30. 10. 6	伊勢まつり	パネル展示、チラシ・啓発物品などの配布、子ども・大人用アンケート、防災グッズ・非常食の展示

(7) 男の料理教室

家庭生活における男女共同参画を目指して、男性向け料理教室を開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
31. 3. 17	伊勢市生涯学習センター調理室	「簡単、手間なし、始めよう！『おとう飯』」 講師：堀江 邦文さん	人 20

3 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

	開催日	内 容	出席委員数
第1回	30. 6. 19	・平成29年度事業実施状況報告書（案）について ・平成30年度の取り組みについて	人 11/15
第2回	31. 1. 23	・平成29年度事業実施状況報告書（案）について ・平成30年度事業報告	人 15/15

4 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を実施した。また、事業所等における男女共同参画の取り組みを促進するため、積極的に取り組んでいる事業所等を表彰した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
30. 11. 7 ～11. 29	株式会社ゴーリキ 他15社	・働きやすい職場づくり、休暇制度の充実・利用促進等の啓発 ・国、県の制度の紹介

(2) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・女性の活躍推進「きらり」賞
有限会社 ウェルフェア三重

・仕事と生活の調和実践賞

株式会社 マスヤ

5 女性活躍推進事業

(1) 女性活躍推進セミナーの開催

女性の積極的な登用や女性が活躍できる職場環境づくりを促進するため、女性活躍推進セミナーを開催し、事業主や管理者等の意識啓発、企業間での情報共有を図った。

開催日	会場	内容	参加者
30.11.9	伊勢商工会議所 大ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「～意思決定の場に女性を～男女共同参画と私たちの未来」 講師：白井 文さん（前尼崎市市長） ・男女共同参画推進事業者等の表彰式 ・男女共同参画推進表彰事業者による取組みの紹介 	19社 41人

(2) 働く女性のスキルアップセミナーの開催

働く女性等を対象に職場で活躍するためのスキルアップセミナーを開催した。

開催日	会場	内容	参加者
30.12.9	伊勢市生涯学習 センター研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー 講師：土屋 美樹さん（株式会社はびきやり取締役） ・参加者同士の交流会 	32人

6 DV等被害者にかかる事務

(申出件数)

内容	新規	解除	変更	継続
件数	24件	23件	7件	19件

7 出会い・結婚支援事業

平成27年10月にオープンした「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談への対応、出会いの場となる婚活イベント等の情報提供、結婚に関する意識啓発に向けたセミナーを開催し、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。

(1) センターの事業内容

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
いせ出会い支援センター 運営にかかる業務委託	自 30. 4. 1 至 31. 3. 31	円 10,273,876	株式会社デルタスタジオ

イ 利用者件数

性別	来所 件	電話 件	メール 件	相談 件	チラシ 件	計
男性	614	103	80	91	939	
女性	885	108	72	37		
計	1,499	211	152	128	939	2,929

ウ 婚活イベントの開催

開催日	会場	内容	参加 人数
30.10.7	三重県営サンアリー ナ レセプションル ーム	イベント名：「ハロウィンパーティ」 第1部41歳以上、第2部31～40歳、第3部 20歳～30歳の3部制、自己紹介、フリー タイム、投票など	人 60
31.2.3	三重県営サンアリー ナ レセプションル ーム	イベント名：「友活バレンタイン交流会」 25～45歳の市内及び定住自立圏域内市 町の事業所に勤めている方を対象に、自 己紹介、フリータイム、連絡先カードの 交換など	45

エ セミナー等の開催

結婚を希望する本人やその親に対しての結婚・婚活支援セミナーや独身女性向けにスキルアップを目的にしたセミナー及びイベントを開催する団体向けに、イベント企画運営のノウハウを提供するセミナーを、センター内で開催した。

(親向け結婚支援セミナー：全3回開催)

開催日	参加人数
30.6.9	人 4
30.11.10	2
31.3.9	3

(スキルアップセミナー：全8回)

開催日	内 容	参加人数
30. 4. 18	ヨガ	7人
30. 6. 27	浴衣着付け	5
30. 7. 14	印象指導・会話力アップセミナー	2
30. 8. 29	ヨガ	4
30. 9. 15	パーフェクトセミナー	3
30.10. 24	カラー診断	3
31. 1. 19	パーソナルカラー診断セミナー	6
31. 2. 27	フェルトボールでコースター作り	1

(団体向けセミナー：全3回)

開催日	内 容	参加人数
30. 4. 6	出会いイベント企画運営 応援団体セミナー	3人
30. 8. 10		3
31. 1. 18		2

オ フリーマガジン「いとし・いせ」の発行

いせ出会い支援センターをPRするため、結婚・出産・育児に関する情報を掲載した地域密着型の情報紙を毎月発行した。

発行部数：3,500部/月

(2) 企業の結婚支援促進事業

市内および定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。また、大学生といせむすび登録企業従業員を対象に「仕事と結婚・子育てとの両立」について考えるためのワークショップを開催した。

ア 登録企業数 203社 (31.3.31現在)

イ ワークショップの開催

開催日	会 場	内 容	参加者
31. 2. 3	三重県営サンアリーナ レセプションルーム	希望がかなうライフプランを考えるワークショップ～仕事と結婚・子育てとの両立～ ファシリテーター：池山 敦さん (皇學館大学助教)	18人

(3) 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
伊勢市版婚姻・出生届の提供及び情報発信業務委託	自 30. 4. 1 至 31. 3. 31	円 100,000	株式会社リクルート

イ ダウンロード数

婚姻：1,734 件

出生： 100 件

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 175 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

報償費総額 7,370,000 円

2 自治会活動補助事業

(1) 振興助成金事業

市内 68 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	自治会 10	世帯 1,548	円 500,000	円 541,800	円 1,041,800
支所管内	29	10,396	1,450,000	3,638,600	5,088,600
小俣総合支所管内	29	8,149	1,450,000	2,852,150	4,302,150
計	68	20,093	3,400,000	7,032,550	10,432,550

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。

補助金額の算定は、対象事業費に3分の2を乗じた額か、世帯数に応じて算出された額のいずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	13件
イ 地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業	1 件
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	32件
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	5 件

オ	訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	9件
カ	少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	6件
キ	住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	53件
ク	その他市長が特に必要と認める事業	0件
		計 119件

(対象自治会) 68自治会

交付申請・決定 3,328,000円 (58自治会)

交付確定 3,167,000円 (57自治会)

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して交付金を交付した。

対象自治会 68自治会

交付金額 39,487,400円

3 コミュニティ助成事業

(一財) 自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

コミュニティセンター助成事業

自治会名	補助金額	事業名
ライブリーシティ伊勢 前山自治会	円 12,000,000	コミュニティセンターの建設と備品の整備
計	12,000,000	

一般コミュニティ助成事業

自治会名	補助金額	事業名
京町自治会	円 2,300,000	複合機他コミュニティ活動備品整備事業
野村町会	2,300,000	屋外放送設備と公民館利用備品の整備
計	4,600,000	

地域防災組織育成助成事業

まちづくり協議会名	補助金額	事業名
豊西まちづくりの会	円 1,700,000	防災機材・備品の整備
計	1,700,000	

4 自治会コミュニティ放送設備整備補助事業

地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。

交付自治会数 21自治会 (26件)

交付金額 2,741,000円

自治会名	補助金額	事業名
栗野区自治会	円 136,000	【新規】拡声放送設備整備事業
下長屋区	9,000	【新規】〃
有滝町会	192,000	【新規】〃
磯町自治会	71,000	【新規】〃
柏町会	42,000	【追加】〃
〃	81,000	【追加】〃
小木町	471,000	【追加】〃
ニュービレッジ大仏山自治会	457,000	【追加】〃
小計	1,459,000	7自治会(8件)
湯田自治区	50,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
〃	117,000	【追加】〃
〃	117,000	【追加】〃
中小俣自治区	17,000	【追加】〃
新出自治区	33,000	【追加】〃
〃	16,000	【追加】〃
〃	33,000	【追加】〃
西新村自治会	16,000	【追加】〃
松倉自治区	17,000	【追加】〃
江区自治会	16,000	【追加】〃
鹿海町自治会	83,000	【追加】〃
今一色区自治会	50,000	【追加】〃
山田原区	301,000	【追加】〃
下小俣自治会	167,000	【追加】〃
東新村自治会	83,000	【追加】〃
掛橋自治会	83,000	【追加】〃
六軒屋自治会	17,000	【追加】〃
小計	1,216,000	13自治会(17件)
月読台自治会	66,000	【新規】メール配信設備整備事業
小計	66,000	1自治会(1件)
合計	2,741,000	21自治会(26件)

5 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の改築及び修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に対し補助金を交付した。

交付自治会数 10自治会

交付金額 7,106,000 円

自治会名	補助金額	補助種別
ライブリーシティ伊勢前山自治会	円 2,718,000	建設
小計	2,718,000	1自治会
馬瀬町内会	950,000	修繕
西新村自治会	410,000	〃
常磐仲町町内会	667,000	〃
掛橋自治会	406,000	〃
栄町自治会	290,000	〃
茶屋区	610,000	〃
宮川町町内会	550,000	〃
小計	3,883,000	7自治会
勢田町船江山自治会	215,000	バリアフリー改修
中島町内会	290,000	〃
小計	505,000	2自治会
合計	7,106,000	10自治会

6 伊勢市総連合自治会事務

各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している伊勢市総連合自治会へ補助金を交付した。(補助金 788,343 円)

7 認可地縁団体等関係

地方自治法第 260 条の 2 の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成 30 年度 地縁団体認可団体数 5 団体 (累計認可団体数 94 団体)

(中須自治会、下長屋区、神田町内会、倭町自治会、上地町中久保・湯田野組)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

(1) 「ふるさと未来づくり」の取り組み

平成 27 年度から本格稼働した「ふるさと未来づくり」制度を推進し、地域自治の実現を図った。市と地域とのパイプ役として各小学校区に地区担当職員を配置し、事業の運営に必要な情報提供や助言を行い、まちづくり協議会の活動を支援した。

<地区担当職員>

部課長級職員 85 人 (平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日は、84 人)

(内訳：修道、明倫、有緝、厚生、早修、中島、神社、浜郷、城田、沼木、二見 (平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日は、3 人)、今一色、御菌学区は各 4 人、その他

学区は各 3 人)

(2) 広報活動

「広報いせ」でシリーズ「わたしたちの地域だから、わたしたちでやりたいことがある」を隔月連載することにより市民への制度周知を図るとともに、ケーブルテレビ行政番組でも「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(3) 伊勢市ふるさと未来づくり推進委員会の開催

令和 2 年度からのふるさと未来づくり資金を見直すため、伊勢市ふるさと未来づくり推進委員会を設置し、委員会を開催した。

	開催日	内容	出席委員数
第 1 回	30. 6. 21	課題の検討について	人 5/5
第 2 回	30. 8. 7	令和 2 年度からのふるさと未来づくり資金の見直し案について	5/5
第 3 回	30. 10. 22	令和 2 年度からのふるさと未来づくり資金の見直し案について	5/5
第 4 回	30. 11. 19	見直し案の取りまとめについて	5/5

(4) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり研修会」の開催

地域の自主自立のまちづくりを推進するため、市事業の紹介及び意見交換を行った。

開催日 平成31年 2 月 6 日 (水)

開催場所 御薊公民館 講堂

内 容 福祉事業の取組紹介、予算・決算関係資料作成方法の説明、意見交換

講 師 健康課、高齢者支援課及び市民交流課職員

参加者 まちづくり協議会 45 人

イ 「まちづくり講演会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるとともに市全体の気運の醸成を図るため、まちづくり講演会を開催した。

開催日 平成30年 11 月 3 日 (土)

開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア多目的ホール

演 題 防災気象情報を活用した地域づくり

講 師 多森 成子さん (気象予報士、防災士、三重テレビ放送気象キャスター)

参加者 まちづくり協議会、一般市民等 約 200 人

ウ 「ふるさと未来づくり意見交換会」の開催

令和 2 年度からのふるさと未来づくり資金の見直し案について意見を頂くため、意見交換会を開催した。

(第1回)

開催日 平成30年9月7日(金)
参加者 まちづくり協議会 43人

(第2回)

開催日 平成30年10月29日(月)
参加者 まちづくり協議会 44人

(第3回)

開催日 平成30年11月30日(金)
参加者 まちづくり協議会 40人

エ 「地区担当職員会議」の開催

「ふるさと未来づくり」を説明するため、地区担当職員向け研修会を開催した。

(第1回)

開催日 平成30年7月12日(木)
内 容 ふるさと未来づくり制度の概要、ふるさと未来づくり資金について

(第2回)

開催日 平成30年8月30日(木)
内 容 ふるさと未来づくり資金について

(第3回)

開催日 平成31年2月15日(金)
内 容 ふるさと未来づくり資金の見直し等について

オ 「職員向け研修会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるため、職員向け研修会を開催した。

開催日 平成31年2月8日(金)
内 容 「ふるさと未来づくり」の制度概要や地域の取組について

(5) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する「防災機能強化等への取組み事業」に対し、活動事業費(臨時特例分)を交付した。

交付金額：167,434,075円

- ・事務運営費・活動事業費(基本額) 69,170,012円(23団体)
- ・臨時特例分 4,577,013円(9団体、11件)
- ・一括交付金化事業 93,687,050円(15団体)

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた事故に対し、傷害事故や賠償責任事故を補償する制度

を平成 23 年度より導入している。

名 称	市民活動補償制度費用保険契約
保険期間	平成 30 年 6 月 1 日午後 4 時から令和元年 6 月 1 日午後 4 時まで
契 約 額	838,640 円
適用件数	13 件（傷害補償 10 件、賠償責任補償 2 件、傷害補償兼賠償責任補償 1 件）

○ 合併調整関係

伊勢、二見、小俣、御菌の 4 つの地域審議会委員を対象に研修会を開催した。

開 催 日	平成31年 2 月 19 日（火）
開催場所	御菌公民館 講堂
研修内容	市内循環バス社会実験運行の実施について、三重とこわか国体・三重とこわか大会について
参 加 者	28 人

戸 籍 住 民 課

○ 戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	54,364 世帯	633 世帯	205 世帯	55,202 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分		日本人	外国人	合 計
人 口	男	59,271 人	405 人	59,676 人
	女	65,808	576	66,384
	計	125,079	981	126,060

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分		件 数
届	転 入	2,934 件
	転 出	3,269
	転 居	2,051
	世 帯 変 更	1,306
出	そ の 他	32
	職 出 生	876
職	死 亡	1,554
	職 権 消 除	10
	修 正	1,871
計		13,903

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

戸 籍 数	61,235 戸籍
本 籍 人 口	146,648 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	665 件	408 件	1,073 件
婚 姻	562	801	1,363
離 婚	170	134	304
死 亡 ・ 失 踪	1,288	331	1,619
養 子 縁 組	70	38	108
養 子 離 縁	33	14	47
国籍の得喪・留保	4	17	21

本籍表示の変更	229 件	250 件	479 件
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	224	125	349
上記以外で身分に変更が生じるもの	22	9	31
訂正・追完	78	7	85
不受理申出	14	6	20
その他	0	6	6
計	3,359	2,146	5,505

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	751 件
戸 籍 全 部 消 除	974
通 知 違 反	7
戸籍の再製・補完	1
そ の 他	0
計	1,733

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出 生	931 件
死 亡	1,594
死 産	17
婚 姻	620
離 婚	204
計	3,366

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,599 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 火 葬	1,170 件	0 件	12 件	1,182 件

(7) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯 罪 関 係 通 知	174 件
民 事 関 係 通 知	31
身 元 事 項 照 会	2,170
計	2,375

(注) 伊勢市総数

(8) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数 (注) 伊勢市総数

出生届 18 件 ・ 婚姻届 197 件

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	本庁	28,207 件 〔741〕	3,427 件	31,634 件 〔741〕	5,641,400 円 〔148,200〕	
	支所	9,427	12	9,439	1,885,400	
広域交付住民票の写し	本庁	50	0	50	10,000	
	支所	5	0	5	1,000	
戸籍の附票の写し	本庁	2,078 〔33〕	4,258	6,336 〔33〕	415,600 〔6,600〕	
	支所	533	17	550	106,600	
住民票記載事項証明	本庁	762	40	802	152,400	
	支所	332	14	346	66,400	
住民基本台帳閲覧	本庁	52	8	60	10,400	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	14,965 〔791〕	40	15,005 〔791〕	2,993,000 〔158,200〕	
	支所	7,882	32	7,914	1,576,400	
諸 証 明	身 分 証 明	本庁	684	0	684	136,800
		支所	164	0	164	32,800
	そ の 他	本庁	319	68	387	63,800
		支所	23	5	28	4,600
マイ ナンバー	通知カード	本庁	536	73	609	268,000
		支所	76	5	81	38,000
	個人番号 カード	本庁	32	1,459	1,491	25,600
		支所	0	0	0	0
本 庁 計		47,685 〔1,565〕	9,373	57,058 〔1,565〕	9,717,000 〔313,000〕	
支 所 計		18,442	85	18,527	3,711,200	
合 計		66,127 〔1,565〕	9,458	75,585 〔1,565〕	13,428,200 〔313,000〕	

(注1) [] はコンビニ交付による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件
住民基本台帳の閲覧団体数 24団体(うち公用 2団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収 入 金 額
			有 料	無 料	計	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,398 件 〔144〕	3,555 件	13,953 件 〔144〕	4,679,100 円 〔64,800〕
		支所	2,596	8	2,604	1,168,200
	個人事項 (抄 本)	本庁	2,838 〔90〕	195	3,033 〔90〕	1,277,100 〔40,500〕
		支所	1,141	0	1,141	513,450
	一部事項	本庁	1	3	4	350
		支所	7	4	11	2,450
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	13,237 〔234〕	3,753	16,990 〔234〕	5,956,550 〔105,300〕
		支所	3,744	12	3,756	1,684,100
計		16,981	3,765	20,746	7,640,650	
除 籍 改製原戸籍	全部事項 (謄 本)	本庁	9,629	7,676	17,305	7,221,750
		支所	2,043	22	2,065	1,532,250
	個人事項 (抄 本)	本庁	35	19	54	26,250
		支所	10	0	10	7,500
	一部事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	9,664	7,695	17,359	7,248,000
		支所	2,053	22	2,075	1,539,750
計		11,717	7,717	19,434	8,787,750	
受 理 証 明 等	本庁	485 (35)	2	487 (35)	206,500 (49,000)	
	支所	3	0	3	1,050	
届書記載事項証明	本庁	20	2	22	7,000	
	支所	2	0	2	700	
閱 覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
本 庁 計			23,406 (35) 〔234〕	11,452	34,858 (35) 〔234〕	13,418,050 (49,000) 〔105,300〕
支 所 計			5,802	34	5,836	3,225,600
合 計			29,208 (35) 〔234〕	11,486	40,694 (35) 〔234〕	16,643,650 (49,000) 〔105,300〕

(注) () は特別受理証明書、〔 〕 はコンビニ交付による内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	8,300 件	5,810 件	1,039 件	24,757 件
住 民 票 関 係 証 明	5,067	4,092		
諸証明関係(身分証明等)	414	35		
計	13,781	9,937		

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) 電子証明書の発行状況(個人番号カードへの記録分)

有 料	無 料	計	金 額
17 件	726 件	743 件	3,400 円

(5) コンビニ交付

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。

取得できる証明書	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し、所得(課税)証明書、課税証明書、非課税証明書
利用可能店舗 (平成31年3月31日現在)	全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、Aコープ北東北、セイコーマート、イオンリテール、コミュニティ・ストア、エーコープ鹿児島、ミニストップ、ポプラ、イオン北海道、日本郵便、ウェルシア薬局、平和堂、山陽マルナカ、イオン九州、イオンストア九州、丸久、マルト、ジョヴィ、イオン琉球、光洋、マックスバリュ東北、フジ、DCMダイキ、マックスバリュ九州、島忠、スパーク(マルチコピー機を設置している店舗に限る)

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数(平成31年3月31日現在) 85,847件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分	件 数	
増	登 録	4,138 件
	そ の 他	0
	計	4,138
減	廃 止	231
	亡 失	1,525
	死 亡	1,416
	転 出	1,270
	そ の 他	181
	計	4,623

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

住民基本台帳事務における支援措置者数(平成31年3月31日現在)

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	35 人	42 人	77 人
他市からの支援要請	60	52	112
計	95	94	189

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交付した。

特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異動事由	件数	異動事由	件数
許可	0件	再交付（交換希望）	0件
証交付（法施行前未取得）	0	再交付（紛失）	1
証交付（切替）	3	有効期間更新	29
再交付（汚損等）	0	記載事項変更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定、変更し、それぞれの申請者へ通知した。

新規付定 ※（ ）はうち枝番号の付定数

住居	事務所	事業所等	計
87件 (22)	0件 (0)	13件 (1)	100件 (23)

変更 ※（ ）はうち枝番号への変更数

住居	事務所	事業所等	計
9件 (9)	0件	0件	9件 (9)

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所長から依頼を受け、新入隊、入校予定者の激励会、懸垂幕掲示、ホームページ、広報いせ、文字放送を通じての広報等、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から15名（陸上自衛隊9名、海上自衛隊2名、航空自衛隊4名）の入隊者があった。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用したより一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

平成30年5月に窓口来庁者795名に対してアンケートを実施した。アンケート結果は、「窓口サービスの全体的な評価」について、「満足」又は「ほぼ満足」と回答した方が全体の98.6%であり、来庁者の評価が良好であることが確認された。

（1）業務内容

- ・証明書交付請求の受付
- ・証明書の発行・交付
- ・戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等）の受付・入力業務
- ・住民異動届の受付・入力業務 等

（2）履行期間 平成30年1月1日から令和2年12月31日（3年間）

（契約締結日 平成29年8月9日）

(3) 契約金額 161,640,000 円 (税抜)
 うち平成 30 年度分 53,880,000 円 (税抜)

(4) 委託業者 株式会社エイジェック 名古屋オフィス
 愛知県名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 1 号 J P タワー名古屋 7 階

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
戸 籍	747 件 416,750 円	431 件 228,200 円	1,129 件 652,650 円	504 件 260,750 円	794 件 457,200 円
住民基本台帳 関 係	1,332 266,200	770 154,000	2,011 402,000	1,168 232,400	1,160 232,000
印 鑑 証 明	887 177,000	534 106,600	1,310 260,400	985 197,000	1,008 201,200
諸 証 明	34 5,800	21 4,200	28 5,600	13 2,600	21 4,200
マイナンバー (通知カード)	7 3,500	4 2,000	11 5,500	10 5,000	17 7,500
計	3,007 869,250	1,760 495,000	4,489 1,326,150	2,680 697,750	3,000 902,100

区 分	北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
戸 籍	702 件 391,500 円	664 件 343,350 円	550 件 301,450 円	315 件 173,750 円	5,836 件 3,225,600 円
住民基本台帳 関 係	1,177 235,000	1,373 268,400	880 175,800	469 93,600	10,340 2,059,400
印 鑑 証 明	1,054 210,400	967 192,000	729 145,000	440 86,800	7,914 1,576,400
諸 証 明	22 4,400	20 4,000	21 4,200	12 2,400	192 37,400
マイナンバー (通知カード)	17 8,000	7 3,000	3 1,500	5 2,000	81 38,000
計	2,972 849,300	3,031 810,750	2,183 627,950	1,241 358,550	24,363 6,936,800

(注) 戸籍住民係中の 3 証明関係「(1)住民票関係の交付等の状況」及び「(2)戸籍謄抄本
 交付等の状況」の内数

(2) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その
 他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図っ
 た。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
30. 6. 18	総会	平成29年度事業報告・決算報告、 平成30年度事業計画（案）・予算（案）の承認 場 所 御菌公民館講堂	
7. 1 ～12. 15	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業： 市内小中学校児童生徒から304点の応募 10月15日、10月22日ポスター審査 （市長賞9点、会長賞20点、奨励賞30点選出） 標語募集事業： 市内に在住または通勤通学する15歳以上の方 （中学生を除く）から10点の応募 委員の投票により入賞者を決定 （市長賞1点、会長賞1点選出） 作品展示 11月16日～11月20日イオンタウン伊勢ララパーク 11月22日～11月27日伊勢図書館 11月28日～12月12日伊勢市防災センター 12月15日 人権講演会にて表彰	広報いせ7.15号 で公募 広報いせ1.15号 で優秀作品を掲載
7. 2	第1回 人権セミナー	演 題「インターネットと人権セミナー」（イン ターネット上の人権） 講 師 吉川 誠司 さん（WEB110代表） 場 所 御菌公民館講堂	参加者42名
9. 21	平和イベント	国際平和デーイベント「平和へのねがい2018～講 演と音楽の夕べ～」 被爆ピアノ講話 矢川 光則さん（調律師） コンサート 大島 久美子さん、森須 奏絵さん、 伊勢少年少女合唱団	参加者190名
10. 10	第2回 人権セミナー	演 題「ともに生きる」（障がいのある方の人権） 講 師 宮崎 吉博 さん （伊勢市社会福祉協議会会長、ステップワン理事） 場 所 御菌公民館講堂	参加者34名

11. 2	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業経過報告、人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場所 市役所本庁4-5会議室	
11. 13	第3回 人権セミナー (市、県と共催)	演題 「トーク&コンサート 自分らしく生きる」 (LGBTの人権) 講師 悠以 さん (シンガーソングライター) 場所 ハートプラザみその 多目的ホール	参加者 360名
12. 4	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、伊勢市人権施策推進協議会委員により啓発冊子・物品を配布し啓発活動を実施 場 所 ぎゅーとら(藤里店・小俣店) イオン伊勢店 イオンタウン伊勢ララパーク みそのショッピングセンター バローミタス伊勢店 ホームセンターバローミタス伊勢店 プライスカット伊勢二見店	参加者31名 配布数1,050個
12. 15	人権講演会	講演 「違いを認める思いやり」 講師 藤田 弓子さん (女優) 場所 生涯学習センター いせトピア多目的ホール	参加者320名
31. 2. 16	人権イベント (市と共催)	「第4回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人権映画祭」 場所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者250名
3. 12	第4回 人権セミナー	演題 「人権落語」(全般的な人権、人のつながり) 講師 切磋亭琢磨 さん (落語家) 場所 ハートプラザみその 教養娯楽室	参加者31名
3. 26	委員会	平成30年度事業(見込)及び決算(見込)報告 平成31年度事業計画(案)及び予算(案) 次年度役員について、市職員意識調査について 場 所 御薊公民館講堂	
随 時	啓発冊子発行	人権ハンドブックNo.20「ヘイトスピーチ」	1,000部作成
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	1,500袋作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 活 動	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民に人権について考える機会を提供した。	毎月15日号掲載 (1月を除く)
地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。(教育集会所、児童センターほか、課職員が編集に参加) 広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、街頭啓発、企業啓発、関係機関窓口、講演会等で配布した。	パンフレット 2,900枚 啓発物品(カードルーペ) 3,500個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、平成30年度啓発活動重点目標を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,700枚 啓発物品(ウェットティッシュ) 1,000個 (クリアファイル) 1,900枚
人権学習リーフレットの作成	「H I V感染者・ハンセン病患者等の人権」、「差別のない社会をつくろう『障害者差別解消法』『ヘイトスピーチ解消法』『部落差別解消推進法』」をテーマにしたリーフレット vol. 27、28を発行した。	リーフレット 各 1,300部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	本庁及び各総合支所にて人権パネル展を開催。本庁・小俣総合支所において懸垂幕を掲出。市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】 伊勢金型工業(株)、(株)ゴーリキ、(株)玉木鉄工所、藤本電器(株)伊勢工場、大東自動車(株)、大忠食品(株)、御木本製菓(株)、一般財団法人伊勢神宮崇敬会、(株)神路社、学校法人伊勢学園、社会福祉法人三重済美学院、(株)森伸、医療法人田中病院、(株)アイブレーン、八木ダンボール(株)、東海労働金庫伊勢支店	16社訪問 啓発物品、パンフレット配布数 540個

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

3 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している17人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財源内訳	
			県補助金	市費
隣保館運営事業費	23,460,561円	22,343,165円	16,757,000円	6,703,561円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相談事業	人権相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	職業相談	0	0	2	2	0	0	2	2
	教育相談	0	0	0	0	1	1	1	1
	福祉相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活相談	1	1	0	0	2	2	3	3
	健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他相談	1	1	0	0	0	0	1	1
講座	福祉介護講座	4	57	—	—	4	144	8	201
	成人学習講座	5	137	—	—	5	188	10	325

3 成人学習講座詳細

館・回	項目	開催日	場所	テーマ	講師	参加人数
朝熊市民館・大久保市民館	第1回	30. 6. 26	楠部町公民館	憲政の神様 尾崎行雄の生き方	尾崎峯堂記念館 館長 奥本 謙造 さん	人 33
	第2回	30. 7. 10	緑が丘公民館	エンディングノートの書き方	伊勢市社会福祉協議会 古川 誠さん	12
	第3回	30. 9. 13	朝熊ふれあい会館	認知症についてみんなで考えよう！	伊勢市社会福祉協議会 田尻 優子 さん	44
	第4回	30. 10. 16	朝熊市民会館	トーク&ライブ 『子どもたちが教えてくれたこと』	前浜郷小学校校長 上地 明宏 さん	23
	第5回	30. 10. 23	鹿海町公民館	「男女共同参画ってなあに？」～男性も女性も生きやすい社会に～	男女共同参画 れいんぼう伊勢	25

	第6回	30. 11. 22	中村町公民館	少年の非行と更生 ～再び歩き出すために～	シンフォニアテ クノロジー響ホ ール伊勢 (伊勢市観光文 化会館館長) 松平博道さん	人 26
	第7回	31. 2. 27	一字田町公民館	愛・平和のメロディー	高村勝さん(チ ェロ) 阿部暖さん(フ ルート) 西川牧子さん (ピアノ)	16
	第8回	31. 3. 9	本居宣長記念館 他	館外研修	—	13
黒瀬市民館	第1回	30. 6. 8	黒瀬市民館	大災害に備えて ～えっ！段ボールってこ んなことに使えるの～	八木段ボール株式 会社 代表取締役 八木雅文さん	38
	第2回	30. 8. 3	一色町公民館	ハンセン病回復者で在日 朝鮮人の金泰九さんとの 出会いから自分の生き方 を考える	御菌小学校 教頭 中村太志さん	47
	第3回	30.10. 2	通町公民館	青少年健全育成について	球友堂スポーツ 社長 角前博道さん	31
	第4回	30.11. 9	馬瀬町公民館	笑って考えよう 身近な 人権	ふんだりていけたり 噴駄理亭欠多利 さん、 せっさていたくま 切磋亭琢磨さん	45
	第5回	31. 3. 16	杉原千畝広場他	館外研修	—	27

○ 非核平和推進事業

1 非核・平和第40回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月11日・12日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第40回空襲展を開催した。

当課の企画として、平和祈念の折鶴作成コーナーを実施した。

主な催し物・・・映画上映、平和紙芝居、演劇、戦跡めぐり、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、戦時中の生活用品など

また、40回を記念して、7月28日・29日に、イオンタウン伊勢ララパークイベントスペースにおいて、空襲展のプレイベントとして「伊勢空襲の記録」を開催した。

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月23日から8月3日まで二見総合支所と御菌総合支所で、8月6日から8月15日まで本庁と小俣総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

市内各市立中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。
(11校×1,200枚)

また、原爆被災ポスター展、非核・平和第40回空襲展の折り鶴コーナーでも活用したほか、市内図書館・いせトピア等にも配布した。

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。

(非核宣言自治体総数 1,647 自治体、内、協議会会員自治体数 341 自治体：令和元年5月末現在)

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

(平和首長会議加盟総数 世界 163 か国・地域 7,756 都市（内、日本国内 1,732 都市）：令和元年5月現在)

6 「国際平和デー」の周知

・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9月21日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。（寺院や教会等 104 か所に参加依頼）

・国際平和デーイベント「平和へのねがい 2018～講演と音楽の夕べ～」

国際平和デーの周知に向けた取り組みとして、第1部では「ヒロシマ被爆ピアノのお話」と題して、広島原爆で被爆したピアノを実際会場に運び入れ、ピアノの所有者であられる調律師の矢川光則さんをお招きし、「被爆ピアノ」の講演会をした。

第2部では、ソプラノ歌手の大島久美子さん、ピアニストの森須奏絵さんの演奏に加え、地元の伊勢少年少女合唱団も参加し被爆ピアノと歌声の競演を行った。（参加者 190 名）

・平和推進にかかる絵本の配付

国際平和デーの周知と平和を祈念する取り組みとして、「国連平和の鐘を守る会」が発行する絵本「コインでつなぐ平和の鐘」を、市の各図書館及び各分室（15 か所）に寄贈した。

○ 人権学習事業

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題として解決できるよう啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり人権啓発活動を行なっている 22 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、委託金を支払い、活動の支援を行なった。

各協議会は、講演会、人権展、啓発紙の発行等を行い、3月には全協議会代表者が参加する情報交換会を行なった。

2 第13回伊勢市人権を考える市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、市民、教職員及び市職員を対象に、平成30年7月25日、ドリアン助川さん（作家、詩の道化師）を講師に招き、『私たちはなぜ生まれてきたのか？小説「あん」でハンセン病快復者の人生を描いた意味』をテーマに、いせトピアで講演会を開催した。（参加者310人）

3 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、平成30年12月15日、藤田 弓子さん（女優）を講師に招き、講演「違いを認める思いやり」をいせトピアで開催した。（参加者320人）

4 第4回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM（いせ人権映画祭）

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上をはかることを目的に映画祭を開催。コメンテーターに映画監督の瀬木直貴さんを招き、8作品の上映を、いせトピアにて開催した。（上映会参加者250人）

上映作品は下記のとおり。

作 品 名	団 体 名	
おばけなんてないさ	モジプール	松阪市
さまがわり	古谷 英稔	大阪府
たい焼き	橋爪 康幸	志摩市
探し物	桜丘高等学校 放送部	伊賀市
学生裁判	三重県立明野高等学校 放送部	伊勢市
ススム	松阪高等学校放送部	松阪市
壺、ゾッコン！	映像CUBE	松阪市
ミナトノオト	三重県立伊勢高等学校 放送部	伊勢市

5 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身に付けた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として4回の講座を開催した。（延べ参加者136人）

各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数
第 1 回	30. 8. 26	御菌公民館	子どもの人権	びわこ成蹊大学客員教授 園田 雅春さん	人 39
第 2 回	30. 10. 21	御菌公民館	性の多様性	にじいろ i・R u (アイ ル) 田中一步さん 近藤孝子さん	35
第 3 回	30. 12. 9	御菌公民館	国際理解・多文化共生	皇學館大学特命教授 深草 正博さん	33
第 4 回	31. 1. 20	御菌公民館	同和問題	名張市人権・男女共同参 画推進室人権教育主事 田中 弓子さん	29

環 境 課

○ 環境全般

1 第2期伊勢市環境基本計画

平成26年度に策定した環境に関わる各計画の最上位計画にあたる「第2期伊勢市環境基本計画」について、伊勢市環境審議会に進捗管理を諮問し審議を行った。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者8人
学識経験を有する者4人
その他市長が必要と認める者3人

会 長：中松 豊 氏（皇學館大学教育学部教授）

副会長：山村 直紀 氏（三重大学工学研究科准教授）

【開催実績】

第1回

開催日：平成30年9月13日

議事等：路上喫煙禁止の条例化に関する審議

第2回

開催日：平成30年11月15日

議事等：路上喫煙禁止の条例化に関する審議、第3期環境基本計画の策定方針に関する審議

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。

本庁及び各総合支所にて取り組む事務活動について、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目の実績把握を行うとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行った。

実績については、本庁舎改修に伴う事務所移転による対象部署や業務環境の変化等の影響もあり、前年度と比較して、可燃ごみ排出量、電力使用量は増加し、事務用紙使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）は減少となった。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェア開催事業

市民の皆様へ、体験などを通して、環境の状況や取り組み等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、平成30年10月8日（月・祝）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ、サブアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市環境フェアを開催した。

開催に当たっては、環境活動に取り組む事業所や団体、大学等の出展協力を得て、多様な体験等の企画を実施し、約 18,000 人に来場いただいた。

なお、2018 福祉フェスティバル事業実行委員会（勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会）主催の「2018 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E you・ゆう・遊 i n g」と同時開催。

(2) 伊勢市環境会議実施事業

環境保全・環境意識の向上を目指し、会員が知恵を出し合い協力して取り組みを行った。

実施日	事業名	概要	備考
30. 5. 27	勢田川ウォッチング	勢田川を身近に感じてもらえるよう、親子等を対象に、勢田川の名所や動植物等の観察会を実施した。	参加者 15 人
30. 6. 5	身近な水環境の全国一斉調査	水環境の全国一斉調査の一環として、勢田川の水質調査を行った。	検査結果 COD 8mg/L
30. 6. 6 30. 6. 27 30. 6. 28 30. 6. 29 30. 7. 4 30. 7. 12 30. 7. 20 30. 10. 19 30. 11. 14	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、会員が紙芝居を用いて、出前講座を実施した。	参加者 五峰幼稚園 28 人 村松保育園 18 人 船江保育園 54 人 あけの保育園 41 人 保育所ゆりかご園 54 人 保育所あけぼの園 21 人 えがお保育園 63 人 大湊保育園 47 人 有滝保育所 21 人
30. 6. 7	クリーンアップ活動	インターハイ開催 50 日前に伴い、三重交通 G スポーツの杜陸上競技場周辺の清掃活動に参加した。	
30. 6. 17	二見町神前海岸ごみ実態調査	南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議主催の海ごみ実態調査に参加した。	
30. 6. 25	勢田川浄化実験事業	河川浄化を目的に、微生物資材 (EM 団子) をヘドロに投入し、浄化効果を経過観察した。	参加者 一之木クリーンズ 13 人
30. 7. 1	勢田川七夕大そうじ	「勢田川を天の川に」をスローガンに河川浄化と美化意識の啓発として勢田川沿岸において清掃活動を実施した。	参加者 約 2,300 人
30. 7. 13 30. 9. 11	環境出前講座 (小学生対象)	子どもたちが環境について学び、家庭での取組につなげることができるよう、体験講座を実施した。 ・アクリルたわしづくり ・水生生物による水質調査	参加者 明倫小 4 年生 59 人 明倫小 4 年生 59 人
30. 8. 5	子どもわくわく体験フェスティバル	特定非営利法人まなびの広場が主催するイベントにて、ごみ分別クイズを実施した。	参加者 約 1,000 人

30. 8.20	水生生物による水質調査	水環境に親しむきっかけづくり、水質浄化意識の啓発を目的に、小学校児童向けに水生生物の生息状況による水質調査を実施した。	荒天のため中止
30. 9. 3 ～ 9.28	環境会議の活動写真展示	環境会議の取組みを紹介するため、百五銀行伊勢支店のロビーに活動写真等を展示した。	
30. 9.11	勢田川浄化実験事業	二枚貝の持つ水質浄化能力を利用し勢田川の水質浄化実験を行った。小学生に二枚貝の生態を知ってもらうため出前講座を実施し、しじみを勢田川へ放流した。	参加者 明倫小4年生 59人
30.10. 8	環境フェア	三重県営サンアリーナにおいて行われた環境フェアにおいて、環境意識の高揚を目的に体験ブース等を出展し啓発を行った。	来場者 約18,000人
30.10. 8	ごみゼロポスターコンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行った。環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	応募作品 882点 (受賞者66人)
30.12.16	みえ環境フェア	メッセウィング・みえで開催された、三重県地球温暖化防止活動推進センター主催による、みえ環境フェアに企画し、アクリルたわしづくり体験ブースと活動写真展示を行った。	来場者 約5,000人
31. 3.26	エコ・クッキング教室	東邦ガス株式会社の協力により、生ごみを出さない、汚れた生活排水を流さない調理実習を行った。	参加者 24人

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成20年7月11日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、市内小学校、保育所において昆虫を活用した環境に関する理科の出前講座を実施し、また、平成30年10月8日に三重県営サンアリーナで開催した「伊勢市環境フェア」において、昆虫を活用したブースを出展いただいた。

・出前講座実績

実施日	実施場所	学年・人数
H30. 5.11	進修小学校	1年 34人
H30. 5.25	佐八小学校	3年 13人
H30. 7.13	進修小学校	6年 25人
H30.10.20	東大淀小学校	1年 16人、3年 20人、 5年 17人、6年 16人

H30.10.26	二見浦小学校	3年B組 33人
H30.10.31	二見浦小学校	3年A組 32人
H30.11.2	しごうこども園	4才24人、5才24人

(4) 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結、市内の小学校向けに環境出前講座等を実施していただくなどご協力をいただいた。

【協定年月日及び協定先】

平成23年9月30日 中部電力株式会社

平成27年1月26日 株式会社第三銀行

平成28年1月22日 横浜ゴム株式会社三重工場

・環境出前講座等実績

実施主体	実施日	小学校名	学年・人数	概要
中部電力株式会社	—	—	—	平成30年度申込なし
第三銀行	H30.7.9	大湊	6年 9人	キッズISO14000説明
	H30.10.2	大湊	6年 9人	キッズISO14000結果
横浜ゴム	H30.10.2	大湊	4年 13人	大湊海岸に関する講座
	H30.10.18	早修	1年 23人 2年 17人	電気バス学習 工場見学、植樹体験
	H30.11.14	明倫	4年 59人	電気バス学習 工場見学、植樹体験
	H30.11.20	御菌	3年 59人	電気バス学習 工場見学、植樹体験
	H30.11.21	大湊	5年 21人	電気バス学習 工場見学、植樹体験

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 太陽光発電普及促進事業

地球温暖化防止対策として、比較的取り組みやすい太陽光発電システム設備の設置を促進するため、設置に対する補助（6万円/件）を行った。

なお、平成30年度中に事業着手したが、年度内に事業完了しなかった44件については、繰越対応とした。

	補助額	交付件数	交付額合計
平成29年度からの繰越分	円/件 60,000	件 26	円 1,560,000
平成30年度事業	60,000	65	3,900,000
計	—	91	5,460,000

	補助額	交付件数	交付額合計
令和元年度への繰越分	円/件 60,000	件 44	円 2,640,000

2 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、JAFと連携し講習会を開催した。

対象	開催日	受講者数
市民・職員 対象	平成30年 8月 8日 (水)	15人
	平成30年 9月 5日 (水)	台風により中止
	平成30年11月14日 (水)	13人
	平成30年12月19日 (水)	13人
	平成31年 1月24日 (木)	15人

※市民 25人、職員 31人 計 56人

3 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の取り組み

多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「低炭素で豊かに暮らせる伊勢」を創造することを目的として、三重県が取り組む「地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業」(H24～H27)の採択を受け、平成24年8月に、三重県と共同で「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」(以下「協議会」という。)を設立した。低炭素社会の創造に向けた取組を着実に進めていくため、平成25年3月に行動計画「おかげさま Action!」を策定し、低炭素社会の実現に向けて取り組んだ結果、短期計画のほぼ全てを達成したことから、平成31年3月29日には協議会を解散、伊勢市が計画を引き継ぐこととした。

(1) 啓発活動

市内等で開催されるイベントにて、電気自動車等の展示(給電デモ等)及び試乗会を行い、電気自動車等の普及啓発を行った。

実施日	事業名	概要	備考
30. 4. 21 30. 4. 22	第38回伊勢楽市	電気自動車等の展示・給電デモ・試乗会	来場者約 30,000人 来場者約 30,000人
30. 4. 29	第9回厚生ふれあいまつり	電気自動車の展示・給電デモ	
30. 5. 3	第25回YOKOHAMAふれ愛まつり	電気自動車の展示・給電デモ	
30. 6. 21	高柳商店街夜店	電気自動車の展示・給電デモ・パネル展示	
30. 8. 4	平成30年度全国高等学校総合体育大会	電気自動車の展示・給電デモ・パネル展示	

30.10. 6	伊勢まつり	ポケモン電気バスの展示・パネル展示・チラシ配布	
30.10. 8	伊勢市環境フェア	ポケモン電気バス他電気自動車等の展示・給電デモ・試乗会	来場者約 18,000 人
30.11. 3 30.11. 4	第 39 回伊勢楽市	電気自動車等の展示・給電デモ・試乗会	来場者約 40,000 人 来場者約 20,000 人

(2) 啓発チラシの発行

電気自動車等のメリットや便利な使い方などの情報をわかりやすく一般の方にお伝えするために啓発チラシを発行し、イベントにて情報を発信した。

(3) 電気バスを活用した環境教育

三重交通株式会社が平成 26 年 3 月に導入した電気バス（株式会社ポケモンの協力を得て、車両内外にポケモンのキャラクターのラッピングを施し「ポケモン電気バス」として運行）を活用し、電気バスの環境性能の紹介や地球温暖化防止について学習する講座を開催した。開催にあたっては、横浜ゴム株式会社三重工場が行なう環境講座（工場見学・植樹体験）と連携して実施。

4 ノーマイカーウィーク（エコ通勤）の実施

平成 24 年 12 月に策定した「伊勢市地球温暖化防止実行計画」に基づき、毎月第 3 月曜日が属する週をノーマイカーウィークとして実施。

【取組内容】

- ・勤務場所、職種等に関わらず、全職員対象（ただし病院、消防の一部の職員は対象外）
- ・毎月第 3 月曜日の属する週に実施
- ・車やバイクを使わず、公共交通機関や自転車、徒歩、車の相乗りでの通勤を推奨

○ 生活排水対策の推進

1 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 浄化槽設置整備事業補助金

合併処理浄化槽の設置を促進するため設置者に対し補助を行った。

【下水道認可区域外】

新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換補助の内訳

人槽	新 築			単独処理浄化槽・くみ取りからの転換			計	
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	交付 基数	交付 額計
5	千円/件 168	基 105	千円 17,640	千円/件 332	基 34	千円 11,288	基 139	千円 28,928
7	207	35	7,245	414	23	9,522	58	16,767
10-50	276	1	276	548	1	548	2	824
計	—	141	25,161	—	58	21,358	199	46,519

単独処理浄化槽・くみ取りからの転換にかかる配管、単独処理浄化槽撤去費用補助の内訳

区 分	単独処理浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
配管	千円/件 60	件 58	千円 3,480
単独処理浄化槽の撤去	90	18	1,620
計	—	76	5,100

※単独処理浄化槽の撤去 18 件は配管と併せて補助

【下水道認可区域内】

浄化槽設置補助の内訳

人 槽	新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
5	千円/件 110	基 21	千円 2,310
7	138	8	1,104
10	182	1	182
計	—	30	3,596

※下水道認可区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

(2) 共同汚水処理施設修繕工事補助金

住民が組織する団体が管理する共同汚水処理施設の適正な維持管理を促進するため、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上）を実施した管理団体に対し補助を行った。

団地名（人槽）	事業費	補助金	備考
大倉うぐいす台団地 (1,400人槽)	1,620千円	540千円	調整ポンプ取換工事等

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）している大気汚染常時監視測定局による二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の調査結果について、市ホームページにて公表した。

(1) 光化学スモッグ発生状況

発令内容	回数
予報	なし
注意報	なし

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁状態を把握するため、河川・幹線排水路の水質を調査した。

(1) 水質調査実施状況

区分	調査対象	地点数	項目数	回数
河川	8	15	13	4～12
幹線排水路	5	7	13	4～12
海域	1	1	8	4

(2) 主な河川、幹線排水路のBOD調査結果

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準
姫之橋（勢田川）	mg/ℓ 5.1	mg/ℓ 3.0	mg/ℓ 2.7	mg/ℓ 3.9	mg/ℓ 4.4	5 mg/ℓ以下
北新橋（勢田川）	6.4	4.6	5.0	4.5	4.9	5 mg/ℓ以下
勢田大橋（勢田川）	7.4	3.3	3.9	5.0	5.5	5 mg/ℓ以下
桧尻川合流点（勢田川）	6.0	3.2	3.7	4.9	4.7	5 mg/ℓ以下
一色大橋（勢田川）	4.8	2.8	2.9	2.9	4.8	5 mg/ℓ以下
中部幹線（勢田川）	4.4	5.4	6.9	5.6	13.0	—
南部幹線（勢田川）	4.3	2.8	2.1	3.4	3.9	—
有滝橋（江川）	1.3	1.5	4.7	1.2	2.4	—
大堀川橋（大堀川）	4.7	1.7	2.5	1.2	3.6	—
野垣外橋（汁谷川）	1.7	1.8	1.0	1.3	3.1	—
鮫川	2.0	2.7	1.7	0.8	4.2	—

※数値は75%値

(3) 海域COD調査結果

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	環境基準
宇治山田港	mg/ℓ 0.8	mg/ℓ 0.5未満	mg/ℓ 1.2	mg/ℓ 0.5未満	mg/ℓ 0.5未満	3 mg/ℓ以下

※数値は75%値

3 騒音・振動調査

(1) 環境騒音・道路交通振動調査

市内の騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

【調査実施状況】

区分	地点数	基準適合地点
一般環境騒音	2	2/2
道路交通騒音	4	4/4
道路交通振動	1	1/1

(2) 自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価

市内の主要幹線道路を対象に、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、自動車騒音の常時監視を実施した。また、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査した。

【騒音調査結果】

路線名	測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
					db	
伊勢多気線	上地町	未指定	C	昼間	70	68
				夜間	65	60
伊勢南島線	神田久志本町	第一種住居地域	B	昼間	70	68
				夜間	65	58
伊勢南島線	岩淵2丁目6	第二種住居地域	B	昼間	70	66
				夜間	65	58
伊勢南島線	大倉町	未指定	C	昼間	70	67
				夜間	65	57

4 公害苦情等処理状況

区分		27年度	28年度	29年度	30年度
典型 7 公害	大気汚染	17件	49件	54件	41件
	水質汚濁	4	3	0	3
	土壌汚染	0	0	0	0
	騒音	3	3	2	1
	振動	0	0	0	0
	地盤沈下	0	0	0	0
	悪臭	8	1	2	5
	小計	32	56	58	50
その他	草刈り・樹木剪定	121	138	129	115
	害虫	—	—	26	14
	動物（犬猫等）	34	51	17	49
	その他	36	31	65	112
	小計	191	220	237	290
計		223	276	295	340

5 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また、特定建設作業に対する届出受理業務を行った。

(1) 特定施設に関する設置等の届出

区分		29年度		30年度	
		設置届	廃止届	設置届	廃止届
大気汚染防止法		4件	3件	8件	5件
水質汚濁防止法		4	12	22	7
騒音規制法		2	1	4	0
振動規制法		0	0	1	0
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	0	1	0	1
	粉じん	1	0	1	0
	騒音	2	0	3	0
	振動	0	0	3	0
	揚水設備	0	0	3	0

ダイオキシン類対策特別措置法	件 0	件 0	件 0	件 0
計	13	17	45	13

(2) 特定建設作業に関する届出

区 分	29 年度		30 年度	
	法律	条例	法 律	条 例
騒音	件 23	件 9	件 34	件 2
振動	14	6	15	1
計	37	15	49	3

(3) 伊勢市土地開発事業指導要綱第6条に基づく計画申し出にかかる協議・意見

区 分	29 年度	30 年度
開発許可申請書に係る協議経過書	件 31	件 27
大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る意見	0	1
計	31	28

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市民の公衆衛生の向上その他公共の福祉の増進に資するため、市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地の管理を行った。

(1) 管理区画数

区 分	3.3 m ² 以下	3.3 m ² 超 6.6 m ² 以下	6.6 m ² 超 9.9 m ² 以下	9.9 m ² 超	計
大世古墓地	区画 956	区画 496	区画 90	区画 100	区画 1,642
大湊墓地	805	83	7	2	897
小俣若山墓地	1,207	0	0	0	1,207
計	2,968	579	97	102	3,746

※平成31年3月末時点

(2) 使用状況

墓 地 名	管理区画数	残数
大世古墓地	区画 1,642	区画 132
大湊墓地	897	45
小俣若山墓地	1,207	3
小俣若山納骨堂	384	335
計	4,130	515

※平成31年3月末時点

(3) 業務委託

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大世古3丁目地内	市営大世古墓地管理業務委託	埋蔵の立会い等 一式	円 168,480	30. 4. 1	31. 3. 31
大湊町内	市営大湊墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等 一式	526,000	30. 4. 1	31. 3. 31
小俣町元町地内	市営小俣若山墓地及び納骨堂管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等 一式	441,103	30. 4. 1	31. 3. 31
岩淵1丁目地内	墓地管理システム運用保守業務委託	墓地管理システムの運用保守 一式	466,560	30. 4. 1	31. 3. 31
大世古3丁目地内	市営大世古墓地除草業務委託	空き区画及び通路の除草 一式	1,236,384	30. 4. 10	31. 3. 31
〃	(注) 市営大世古墓地樹木伐採業務委託	樹木伐採 一式	1,523,880	30. 10. 17	30. 11. 22
岩淵1丁目地内	墓地管理システム改修業務委託	墓地管理システムの改修 一式	702,000	31. 3. 14	31. 3. 29
計	—	—	5,064,407	—	—

(注) 維持課施行

(4) 賃借業務

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地駐車場賃借料 (小俣若山墓地)	30. 4. 1~31. 3. 31	240,000 円

(5) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
大世古3丁目地内ほか	(注1) 市営大世古墓地ほか給水切替工事	給水切替工 3か所	円 1,058,400	30. 11. 30	31. 1. 28
小俣町元町地内	(注2) 市営小俣若山墓地ブロック塀改修工事	ブロック塀取り壊し工 15 m ³ 鋼板笠木設置 274m	2,776,680	30. 12. 7	31. 2. 14
大世古3丁目地内	(注3) 市営大世古墓地ブロック塀改修工事	フェンス設置 44m ブロック塀取壊し 8 m ³	2,608,200	30. 12. 28	31. 3. 7
大湊町内	(注3) 市営大湊墓地ブロック塀改修工事	ブロック塀取壊し 10 m ³ フェンス設置 98m 水汲み場屋根設置 1か所	5,626,800	30. 12. 28	31. 3. 12
計	—	—	12,070,080	—	—

(注1) 上水道課施行

(注2) 維持課施行

(注3) 都市計画課施行

(6) 収納区分別の墓地管理手数料収納件数及び割合

区分		収納件数	割合
口座振替		件 1,334	% 38.3
窓口 納付	コンビニ	998	28.6
	金融機関・市窓口	1,152	33.1
計		3,484	100.0

2 共同墓地整備事業補助金

自治会等が管理する共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し補助を行った。

区分	事業費	補助金額	備考
上長屋墓地	円 211,464	円 70,000	樹木の伐採
西之坂墓地	432,000	144,000	樹木の伐採
天神・小町塚墓地	2,129,544	709,000	通路整備、階段整備
中楽山墓地	864,000	288,000	樹木の伐採、フェンス等整備
西区墓地	531,360	177,000	通路整備、樹木の伐採、フェンス等整備
黒瀬中崎共同墓地	418,781	139,000	樹木の伐採
計	4,587,149	1,527,000	—

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、公共施設等において動力2兼機による煙霧消毒を実施した。また、希望する市民にハチ防護服の貸出を行った。

区分	27年度	28年度	29年度	30年度
煙霧消毒	件 7	件 4	件 9	件 7
ハチ防護服貸出	46	58	46	41

2 公衆浴場に対する支援

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合を通じて、市内の公衆浴場5か所に集客用の物品支援を行った。

実施日	物品名	数量	金額
30. 4. 9	トイレトペーパー ボックスティッシュ	432 個 164 箱	円 73,356
30. 5. 14	トイレトペーパー ボックスティッシュ	432 個 144 箱	68,256
30. 5. 24	トイレトペーパー ボックスティッシュ	432 個 144 箱	68,256
計	—	—	209,868

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施し、飼い犬情報の管理を行った。

区 分	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
登録数	頭 8,117	頭 8,061	頭 7,484	頭 7,563
新規登録件数	504	459	427	417
予防注射接種数	5,220	4,775	5,090	4,608
獣医師等	4,005	3,682	4,096	3,675
集合注射	1,215	1,093	994	933

※平成 31 年 3 月末時点

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を促進するため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分	助成額/件	28 年度		29 年度		30 年度	
		件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	円	件	円	件	円	件	円
	雄 3,000	71	213,000	86	258,000	94	282,000
	雌 4,000	88	352,000	96	384,000	108	432,000
猫	雄 2,500	204	510,000	218	545,000	243	607,500
	雌 3,500	287	1,004,500	307	1,074,500	273	955,500
計		650	2,079,500	707	2,261,500	718	2,277,000

3 飼い主がいない猫対策

猫と人が共生できる社会を目指し、地域の生活環境の保全を目的に、飼い主のいない猫のふん害等を軽減するため、地元自治会、伊勢保健所、三重県動物愛護推進センター（あすまいる）、公益財団法人どうぶつ基金と連携し TNR 活動を実施した。

項目	件数	匹数
TNR 実施数	7	70

TNR 活動・・・飼い主がいない猫に対して、不妊去勢手術を行い元の場所に戻すことで繁殖を抑制し苦情や殺処分数の減少に寄与する活動

○ 水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に関する届出、三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区 分	29 年度		30 年度	
	設置届	廃止届	設置届	廃止届
水道法（専用水道）に基づく届出	件 0	件 0	件 0	件 0
水道法（簡易専用水道）に基づく届出	2	1	1	1
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0	0	0

○ 伊勢広域環境組合

し尿等処理、火葬業務について、伊勢市、明和町、玉城町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

業務名	施設	構成市町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

(1) 分担金の推移 (伊勢市分)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度
クリーンセンター	千円 224,653	千円 206,291	千円 188,389	千円 177,067
斎場	41,221	39,779	45,975	51,833

(2) 分担金内訳 (伊勢市分)

区分	クリーンセンター	斎場	計	備考
共通経費	千円 2,285	千円 542	千円 2,827	平等割10% 加入事務数割90%
運営経費	172,557	40,943	213,500	実績割100%
建設経費	-10,543	10,348	-195	平等割10%、人口割90%
公債費	12,768	0	12,768	元利補給金
計	177,067	51,833	228,900	—

(3) クリーンセンター処理実績の推移

区分	27年度	28年度	29年度	30年度
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	t 51,531	t 48,584	t 47,297	t 45,229
内 伊勢市分	42,634	40,030	39,712	37,676

(4) クリーンセンター処理状況

月分	処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	内 伊勢市分		
		し尿	浄化槽汚泥	
4	t 3,732	t 3,122	t 545	t 2,577
5	3,728	3,161	537	2,624
6	3,992	3,247	531	2,716
7	3,735	3,129	530	2,599
8	3,497	2,856	544	2,312
9	3,284	2,656	525	2,131
10	4,185	3,437	577	2,860
11	3,629	3,072	497	2,575
12	4,050	3,334	662	2,672
1	3,156	2,598	409	2,190

2	t 3,733	t 3,207	t 472	t 2,734
3	4,510	3,857	464	3,393
計	45,229	37,676	6,308	31,367

※端数処理により合計が合わない

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 8 業者許可車両台数 37 台

(本許可車両 26 台、予備車両 11 台)

(5) 斎場利用実績の推移

区 分	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
総利用数 (伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外)	件 2,095	件 2,113	件 2,185	件 2,142
内 伊勢市分	1,506	1,541	1,583	1,536

※胞衣汚物及び霊安室利用を除く

(6) 斎場利用状況

区 分	明和町・玉城町・度会町	管 外	伊勢市	計
12 歳以上の者	件 509	件 89	件 1,521	件 2,119
12 歳未満の者	0	1	0	1
死産児	4	3	15	22
計	513	93	1,536	2,142
胞衣汚物	24 件			
霊安室利用	9 件			

○ 生物多様性保全活動の推進

市内においてもブラックバスやミドリガメ、アライグマ等の外来生物が多く見られるようになり、外来種が在来種の生息に悪影響を及ぼしていることを認識し対策を進める必要がある。生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・育成状況の把握に努めるとともに在来種の保護を行う活動、啓発活動を実施した。

実施時期	実施事業名	概 要
30. 4.20 ~ 8. 1	勢田川の生物展示	御菌総合支所内に水槽を設置し、勢田川に生息する水生生物を展示した。
30. 5.21	ミドリガメの捕獲	桧尻川において、市内の事業所と協力しミドリガメを駆除した。
30.10. 8	生物多様性啓発	環境フェアにおいて、特定外来生物のはく製展示等、生物多様性について啓発を行った。

生物多様性・・・多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 伊勢市廃棄物減量等推進審議会の開催

ごみ処理における施策取組状況や推進状況を報告し、意見をいただいた。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構 成：学識経験者（2名）、市民（2名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、
再生資源業者（1名）、関係行政機関（2名）

会 長：深草 正博 氏（皇學館大学 教育学部教授）

副会長：宮岡 邦任 氏（三重大学 教育学部教授）

(2) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

「MOTTAINAI～3R+リスペクト～」を新たなタイトルとし、MOTTAINAI 推進事業の啓発（雑がみのさらなる分別、食品ロスの削減など）を中心に、ごみの分け方・出し方の周知や、その時期に応じた内容の記事を、毎月15日号に連載し、ごみの減量・分別の啓発に努めた。

また、ケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」でも同様の啓発に努めた。

イ ごみ分別ガイドブック外国語版の配布

平成29年度に新たに翻訳を行った3言語（英語、ポルトガル語、中国語）を製本し、市内在留の外国人へ配布した。

ウ ごみ分別アプリ「伊勢市版 5374.jp」の共同作成

平成29年度に、宇治山田商業高等学校情報処理科生徒が伊勢市のオープンデータを利用して作成した「5374.jp」を平成30年度版に更新し、さらに分別の対象品目を表示できる機能も付加した新たな「伊勢市版 5374.jp」として、普及に努めた。

エ キャラクターを使った啓発

こどもへのごみ減量・分別意識を高めるため、こども向け環境学習や啓発活動に皇學館大学の学生と協働で作成した、ごみ分別PRキャラクターを使用し、集客や注目度向上を図った。

(3) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア 実施日 平成30年12月13日及び14日

イ 分別状況

品目	割合	品目	割合
生ごみ	39.3%	段ボール	1.2%
その他の燃えるごみ	31.6	布・衣類	5.5
雑誌・雑紙類	9.4	プラスチック製容器包装	7.2
新聞・折込チラシ	1.9	ペットボトル	0.9
飲料用紙パック	2.2	不燃ごみ	0.8

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

年 度	26年度	27年度	対前年度増減	28年度	対前年度増減	29年度	対前年度増減	30年度	対前年度増減
燃えるごみ	t 43,683	t 43,159	% △1.2	t 42,948	% △0.5	t 42,604	% △0.8	t 41,918	% △1.6
粗大ごみ	1,145	1,191	4.0	1,163	△2.4	1,287	10.6	1,260	△2.1
小 計	44,828	44,350	△1.1	44,111	△0.5	43,891	0.5	43,178	△1.6
資源物	6,625	6,333	△4.4	5,992	△5.4	5,746	△4.1	5,913	2.9
缶・金属類	886	999	12.8	911	△8.8	984	8.0	938	△4.7
投棄場搬入量	921	582	△36.8	660	13.4	593	△10.2	550	△7.3
合 計	53,260	52,264	△1.9	51,674	△1.1	51,214	△0.9	50,579	△1.2

※対前年度増減(%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

※投棄場搬入量は側溝土砂を含む

イ ごみの各平均排出量

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
各年度末人口 (人)	130,338	129,353	128,288	127,064	126,060
各年度末世帯数 (世帯)	54,333	54,554	54,787	54,913	55,202
総ごみ排出量 (t)	53,260	52,264	51,674	51,214	50,579
1日平均排出量 (t/日)	145.92	143.19	141.57	140.31	138.57
1日1人平均排出量 (g/人・日)	1,119.5	1,107.0	1,103.55	1,104.27	1,099.26
1日1世帯平均排出量 (g/世帯・日)	2,685.6	2,624.7	2,584.1	2,555.2	2,510.2

※各年度末人口・世帯数は町別統計(住民基本台帳)を引用

ウ 処理経費の推移

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
処理経費	円 1,403,595,000	円 1,477,934,000	円 1,547,994,000	円 1,660,418,046	円 1,651,052,944
ごみ1t当りの 処理経費	26,354	28,278	29,957	32,421	32,643
1人当りの 処理経費	10,769	11,426	12,067	13,068	13,097
1世帯当りの 処理経費	25,833	27,091	28,255	30,237	29,909

※処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値（人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。）

(2) 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類についても中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

ア 資源びんの委託量等の推移

年 度	委託量	無 色	茶 色	その他の色	計
	委託料				
28年度	委託量(kg)	453,320	330,270	167,340	950,930
	委託料(円)	57,118	272,472	146,087	475,677
29年度	委託量(kg)	442,820	325,940	160,810	929,570
	委託料(円)	90,778	260,100	143,281	494,159
30年度	委託量(kg)	416,150	310,230	168,450	894,830
	委託料(円)	83,230	243,220	156,153	482,603

イ その他資源物の委託量等の推移

年 度	委託量	プラスチック 製容器 包装	ガラス・く ずびん類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	鏡	ガレキ 類	小型家電
	委託料								
28 年 度	委託量	kg	kg	kg	t	t	t	t	kg
	委託料	円	円	円	円	円	円	円	円
29 年 度	委託量	885,090	166,200	231,350	27	22	5	69.23	177,490
	委託料	398,290	2,692,440	6,381,018	2,711,880	1,983,696	588,600	157,438	1,735,473
30 年 度	委託量	885,720	189,910	312,990	47	29	0	68.43	374,030
	委託料	434,002	3,691,850	8,788,759	4,720,680	2,648,430	0	211,516	6,051,912

※ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。乾電池・

蛍光管・鏡について、伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため委託料は参考値。

※小型家電については、缶・金属類で分別回収し、ピックアップ方式により回収した。また、平成28年度は売却託となった。

ウ 紙類・布類の売却量等の推移

年 度	売却量 及び 売却額	新聞・折込 チラシ	雑誌・雑紙類	段ボール	飲料用紙 パック		布・衣類	計
					200ml 以外	200 ml		
28 年 度	売却量 (kg)	797,020	923,750	720,580	21,230	0	154,780	2,617,360
	売却額 (円)	4,782,120	4,618,750	3,602,900	127,380	0	309,560	13,440,710
29 年 度	売却量 (kg)	661,030	889,870	687,630	21,160	0	147,590	2,407,280
	売却額 (円)	4,627,210	5,339,220	3,438,150	126,960	0	147,590	13,679,130
30 年 度	売却量 (kg)	530,170	973,500	674,410	20,550	0	158,180	2,356,810
	売却額 (円)	3,911,359	4,772,060	3,455,511	126,011	0	162,595	12,427,536

エ その他資源物の売却量等の推移

年 度	売却量	ペットボトル	小型家電
	売却額		
28年度	売却量	kg 280,110	kg 181,040
	売却額	円 1,786,568	円 1,384,797
29年度	売却量	275,100	—
	売却額	2,860,271	—
30年度	売却量	296,250	—
	売却額	861,505	—

※小型家電については、缶・金属類で分別回収し、ピックアップ方式により回収した。また、平成29年度からは委託となった。

オ 資源化率の推移

年 度	28年度	29年度	30年度
資源化率	16.24%	15.74%	15.67%

※資源化率(%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

市の資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

なお、平成28年度から「土砂」の委託量を資源物量から除いた。

3 3Rの推進

(1) 食品ロス削減に関する取組

MOTTAINAI 推進事業により全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に参画し、事業系食品ロスの削減を目的とした共同キャンペーンを実施した。また、市内飲食店へ食品ロス削減に関する啓発協力等の依頼をし、ポスター掲示、卓上ポップの設置等を行った。

(2) 雑がみ類のさらなる資源化に関する取組

市内自治会を対象として、ごみの減量・資源化に即効性のある「雑がみ類のさらなる分別徹底」や「食品ロス削減」「生ごみ水切り」などを中心に MOTTAINAI 推進事業説明会を実施した。(説明会開催自治会数 58 自治会 参加人員 1,574 人、啓発用チラシ回覧実施自治会数 93 自治会)

(3) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取組

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行った。

- ・レジ袋辞退率 90.2% (平成 30 年度)

(4) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

ア 家庭用 (過去3年間の推移)

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
	件	基	円
28年度	85	88	1,477,900
29年度	54	59	1,034,400
30年度	40	43	715,600

イ 事業所用

平成 28 年度から平成 30 年度まで交付実績なし

※平成 27 年度から補助開始

(5) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計 81 か所

※資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況 (過去3年間の推移)

年 度	廃食用油回収量
28年度	27,650
29年度	30,165
30年度	27,330

(6) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がペ

ットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課、各支所、清掃課にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

ア 回収状況（過去3年間の推移）

年 度	重 さ	個数（約）	ポリオワクチン
28年度	kg 8,747.8	個 3,761,554	人分 4,373.9
29年度	8,227.5	3,537,825	4,113.8
30年度	10,146.0	4,362,780	5,073.0

4 排出環境の整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

ア 交付状況（過去3年間の推移）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
28年度	件 33	基 54	円 4,596,919
29年度	19	26	4,905,147
30年度	23	59	5,865,748

※利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入
市民自己 搬入分	車 243	kg 89,399	円 163,950	車 148	kg 56,810	円 154,940	車 391	kg 146,209	円 318,890
公共関係 搬入分	588	402,624	—	4	910	—	592	403,534	—
計	831	492,023	163,950	152	57,720	154,940	983	549,743	318,890

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため下記の事業を行った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内	ガレキ類再資源化業 務委託	引取量 ガレキ類 44.16t 瓦類 24.27t	円 211,516	30. 4.27	30.11.22
朝 熊 町 地 内 ほか	伊勢市廃棄物投棄場 地下水等水質調査	6か所	831,600	30.08.29	31. 1. 9

朝熊町内	土砂再資源化業務委託	引取量 土砂	499.94t	円 9,880,814	31. 1.23	31. 3.15
計	3件	—	—	10,923,930	—	—

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして66自治会より推薦された130名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨励金 交付額
			紙類	布類	金属 缶類	計	びん	
28年度	団体 165	団体 146	kg 2,122,166	kg 44,430	kg 54,656	kg 2,221,252	本 2,800	円 6,671,960
29年度	169	146	2,059,318	40,818	59,694	2,159,830	1,917	6,485,080
30年度	172	151	1,964,752	42,100	55,143	2,061,995	756	6,188,080

※1kg当たり3円、リターナブルびんについては1本当たり3円の奨励金を交付した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する学校・団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、説明会を実施している。(説明会開催回数 延べ51回、参加人員 延べ2,060人)

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「2019年4月～2020年3月度版ごみカレンダー」を65,000部作成し、広報いせ3月1日号と同時期に全戸に配布した。

(5) 伊勢市環境会議(ごみ関係)

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施日	実施事業名	概要	備考
30. 6. 7	インターハイ開催50日前クリーンアップ活動	平成30年度全国高等学校総合体育大会で伊勢市を訪れる参加者や関係者を歓迎し、より快適な環境を提供するため、三重県営総合競技場周辺を清掃した。(ごみゼロ活動の一環として実施)	参加者 約500人 回収量 2tトラック 1車分
30.10. 8	ごみゼロポスターコンクール表彰式	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催する。	受賞者 計66名 (応募作品数 882作品)

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布・設置（74枚）とともに、パトロールや市内4か所に設置した監視カメラ（固定式・移動式）にて、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民等の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が市の所有地(管理地)以外の場合は、土地の所有者(管理者)に連絡して対応を求めた。

ア 主な不法投棄物の回収状況（過去3年間の推移）

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エアコン	タイヤ	消火器
28年度	台 83	台 16	台 21	台 1	本 90	本 94
29年度	62	17	18	4	63	71
30年度	39	8	11	0	69	21

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事 業 名	広 告 媒 体	広告掲載数	収 入 額
じん芥収集車両掲載広告事業	じん芥収集車両	台 6	円 930,000
ごみ減量・資源化事業一般経費	ごみカレンダー	枠 16	480,000
計	—	22	1,410,000

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両35台、収集人員41名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。また、ハッピーマンデー（年4回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12月30日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

(1) 収集車両

ア 所管している車両

4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワーリフト
台 2	台 12	台 6	台 5	台 1
2 tトラック	1 tトラック	軽四ダンプ	軽四トラック	計
台 3	台 1	台 4	台 1	台 35

イ 車両の購入

耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。

種 別	台 数	金 額
2t パワーリフト(アルミバン)	台 1	円 4,095,874
軽四ダンプ	2	3,196,800

ウ 車両の売却

老朽化等により不要となった車両をインターネットオークションにて売却した。

種 別	台 数	金 額
2 t パッカー (回転板式)	1	900,000
2 t パワーリフト	1	188,000
軽ダンプ	2	198,000

(2) 収集人員

一般廃棄物の収集を職員 41 名の人員で行った。

(3) 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集運搬業務の一部を民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区及び小俣町地区・二見町地区の資源物収集運搬業務の一部、及び御菌町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務の一部を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化学業計画(旧伊勢市地区、小俣町地区、御菌町地区及び二見町地区)に基づき、旧伊勢市地区の 4 業者、小俣町地区の 2 業者、御菌町地区の 1 業者、二見町地区の 1 業者に委託した。旧伊勢市地区の資源物収集運搬業務の一部は競争入札により選定した 1 業者に委託した。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 区 内	資源物回収袋洗浄等 業務委託	回収袋の洗浄及び補修業 務委託 一式	円 12,243,798 【単価契約】 885~1,233 円/人日 事務費 8%	30. 4. 1	31. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託 一式	11,720,263 【単価契約】 <8t まで> 160,000 円/日 <8t 超> 20,000 円/t	30. 4. 1	31. 3. 31

伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬 (その1) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(プラスチック製容器 包装) 一式	円 49,675,680	30. 4. 1	31. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その2) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(ペットボトル) 一式	37,368,000	30. 4. 1	31. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その3) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(プラスチック製容器 包装) 一式	49,578,480	30. 4. 1	31. 3. 31
小俣町内	一般廃棄物収集運搬 (その4) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類) 一式	68,472,000	30. 4. 1	31. 3. 31
御菌町内	一般廃棄物収集運搬 (その5) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類) 一式	34,236,000	30. 4. 1	31. 3. 31
二見町内	一般廃棄物収集運搬 (その6) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類) 一式	19,920,600	30. 4. 1	31. 3. 31
伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬 (その7) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(ガラス・くずびん類、 陶磁器類) 一式	25,920,000	30. 4. 1	31. 3. 31
小俣町内	一般廃棄物収集運搬 (その8) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類) 一式	13,068,000	30. 4. 1	31. 3. 31
伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬 業務委託(資源びん、 紙・布類)(旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(資源びん、紙・布類) 一式	66,709,160	30. 4. 1	31. 3. 31
計	11件	—	388,911,981	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区(月・木曜日地区、火・金曜日地区)に分け、旧伊勢市地区、二見町を収集12コースにて週2回収集した。小俣町及び御菌町については、業務委託により同様に週2回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により年1回、収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量
車	kg	車	kg	車	kg
19,305	25,285,360	376	261,320	19,681	25,546,680

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、1,003か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部115か所で適時収集を行った。

区分	収集量	区分	収集量
缶・金属類	kg 1,184,680	布・衣類	kg 158,180
資源びん	1,023,130	ペットボトル	337,740
新聞・折込チラシ	530,170	プラスチック製容器包装	1,077,450
雑誌・雑紙類	973,500	ガラス・くずびん類、陶磁器類	530,470
段ボール	674,410	蛍光管	26,970
飲料用紙パック	20,550	計	6,537,250

※缶・金属類は、小型家電製品及び乾電池の収集量を含む。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、平成30年度末現在で19か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション受 付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	円 9,301,593 【単価契約】 885～1,233 円/人日 事務費8%	30. 4. 1	31. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステー ション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	1,900,000	30. 4. 1	31. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステーショ ン受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	30. 4. 1	31. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステーショ ン受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	30. 4. 1	31. 3. 31
二見町三 津地内	二見資源拠点ステーショ ン受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	30. 4. 1	31. 3. 31
前山町 地内	宮本資源拠点ステーショ ン受付等業務委託	資源物受付及び整理	48,000	30. 4. 1	31. 3. 31
計	6件	—	13,349,593	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

施設の安全対策及び維持管理のため既存不適格コンクリートブロック塀撤去等の修繕工事を行った。

施工場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
通町 地内	通町公民館資源ステー ション改修工事	外壁改修工事 一式	円 831,600	30. 6. 29	30. 9. 11
小俣町本 町地内	掛橋資源ステーショ ン撤去工事	資源ステーション撤去 1か所	1,036,800	30. 9. 18	30. 11. 14
宮後2丁目 地内	【塀】中央資源拠点 ステーションブロッ ク塀撤去工事	コンクリートブロック 塀解体撤去処分 L=18.8m H=1.4 m D=100mm	691,200	30. 9. 18	30. 11. 30
二見町三 津地内	【塀】二見資源拠点 ステーションブロッ ク塀撤去工事	コンクリートブロック 塀解体撤去処分 L=73.9m H=1.4 m D=150mm	1,242,000	30. 10. 19	30. 11. 30
黒瀬町 地内	いせトピア資源拠点 ステーションコンセ ント増設工事	コンセント増設 1か 所	71,280	30. 10. 23	30. 12. 10
小俣町宮 前地内	一般廃棄物施設移設 工事	プレハブ倉庫 (W2.7m ×D2.1m) 設置 1棟	498,960	31. 2. 25	31. 3. 8
計	6件	—	4,371,840	—	—

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 有料収集、小動物の死体の処理

粗大ごみ等の有料収集やペットとして飼われていた小動物の死体の収集について、手数料を徴収している。

なお、所有者不明の猫等の小動物 486 体の死体の収集については、一般廃棄物処理手数料は徴収していない。

区分	手数料	
	件数	金額
粗大ごみ等	743 件	2,259,820 円
小動物の死体	65	65,560
合計	808	2,325,380

(1) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物の処理

火災及び風害被災者の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	風害被害者	計
件数	2 件	12 件	14 件

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、ふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 6,520kg)

利用希望者の申請をもとに 3 回の審査会を開催し、3 件の審査の結果 3 件の実施を決定した。平成 31 年 3 月は、33 件実施した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう努めた。

1 分担金内訳

区分	伊勢市分			備考
	ごみ	粗大ごみ	計	
共通経費	5,046 千円	987 千円	6,033 千円	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	381,098	74,516	455,614	実績割 100%
建設経費	546,981	—	546,981	平等割 10% 人口割 90%
公債費	189,398	—	189,398	元利補給金
清掃事業所負担金	4,225.5	—	4,225.5	
計	1,126,748.5	75,503	1,202,251.5	